

平成30年度 公民科「現代社会」SYLLABUS

単位数	2単位	学科・学年・学級	普通科 第1学年 特別進学・進学クラス
教科書	高等学校 改訂版 現代社会 (第一学習社)	副教材等	最新 本質が見えてくる現代社会資料2017 (第一学習社) 教科書準拠ノート「現代社会ノート」 (第一学習社)

1. 学習の到達目標

①人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深めさせる
②現代社会の基本的な問題について主体的に考察し公正に判断する
③自ら人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養う
④良識ある公民として必要な能力と態度を育てる

2. 学習の計画

学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等
前 期	4	第1編 私たちの 生きる社会	①地球環境問題	・地球環境問題が国際的な問題となっていることや、その解決に向けての取り組みについて理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・ノート提出 ・定期考査
	5		②資源・エネルギー問題	・エネルギー政策を見直すとともに、新エネルギーの現状と将来について考え、毎日の生活を見直し、省エネルギーに努めることが重要であることを理解する。	
			③科学技術の発達と生命倫理	・科学技術の発達は、社会や生活をどのように変えてきたかを考え、理解する。 ・生命倫理をめぐる問題について、どのようなものがあるかを理解し、それらについての知識を身につける。	
		④高度情報社会と私たちの生活	・情報の活用や情報にかかわる諸課題を考察させることを通して、幸福、正義、公正など社会のあり方を考察する基盤を理解する。		
	5	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方	第1章 現代に生きる青年	・青年期の心理の特徴について理解し、一人前の人間として自立するためには何をしたらよいかを考える。 ・青年期の意義や青年期の心理について、それらがどのようなものかを理解し、自分自身の問題として考える。 ・なぜ生きがいを求めようとするのか、人生における職業の意味、社会活動の意義について考える。 ・伝統や文化と自らの行動様式や考え方との関係について考察する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・模造紙発表 ・ノート提出 ・定期考査
前 期	6	第2章 個人の尊重と法の支配	①民主政治における個人と国家	・私たちの生活と政治や国家のかかわりについて関心を高め、国家はどのような考え方を背景につくられたのかを理解する。 ・基本的人権が保障された経緯を、さまざまな情報手段で資料を収集し、具体的事例をあげて考察し、理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・模造紙発表 ・ノート提出 ・定期考査
	②基本的人権と法の支配				
		③世界のおもな政治体制	・世界のおもな政治体制について、真の民主政治の実現と関連させて考察する。		
		第3章 現代の民主政治と政治参加の意義	・日本国憲法の成立過程や明治憲法との比較、天皇の地位の変化、日本国憲法の三つの基本原理について主体的に理解する。 ・日本国憲法の平和主義の特色を理解する。 ・日本国憲法の平和主義については、さまざまな立場からの意見があることを理解する。 ・基本的人権とは何かを様々な立場にたって考察する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・ノート提出 ・定期考査	
	7		④国民主権と議会制民主主義	・国会の地位と構成、権限について理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・ノート提出 ・定期考査
	⑤内閣と行政の民主化	・国会の地位と構成について、インターネットなどの情報手段を活用して資料を収集し、レポートをまとめる。 ・議院内閣制のしくみ、内閣総理大臣の権限、行政の民主化について理解する。			
			⑥裁判所と人権保障	・議院内閣制のしくみ、裁判所の役割や裁判制度について、インターネットなどの情報手段を活用して資料を収集し、レポートをまとめる。	

			<p>⑦地方自治と住民の福祉 ⑧世論形成と政治参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治に住民はどのような権利をもっているか、また、地方自治のもつ課題について、自分自身の問題として具体的に考察する。 ・地方自治に住民はどのような権利をもっているか、地方自治のもつ課題について、自分自身の問題として理解し、その知識を身につけている。 ・政党の役割、選挙のしくみ、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、調査する。 	
9		<p>第4章 国際政治の動向と日本の役割</p> <p>①国家主権と国際法 ②国際連合の役割 ③今日の国際社会 ④核兵器の廃絶と国際平和 ⑤地域紛争と人種・民族問題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際法の意義と役割について理解する。 ・勢力均衡と集団安全保障体制の違いについて考え、国連の役割と課題について理解する。 ・第二次世界大戦後の国際社会と冷戦終結前後の国際社会の状況について、年表を使って整理し、理解する。 ・核兵器の問題についての知識を身につけ、それを廃絶するために何をしなければならないかを理解する。 ・なぜ人種や民族の違いにより争うのかを主體的に考え、人種・民族紛争の実態、難民問題について理解する。 ・人種・民族紛争の実態、難民問題に関する資料について、さまざまな情報手段を用いて収集し、それらをもとに整理・発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・模造紙発表 ・ノート提出 ・定期考査 	
学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等
後 期	10	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方	<p>第5章 現代の経済社会と私たちの生活</p> <p>①経済社会と経済体制 ②経済主体と企業の活動 ③市場経済のしくみ ④経済成長と景気変動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解する。 ・企業・家計・政府はどのような活動をしているか、企業の社会的責任について理解する。 ・企業がどのような活動をしているのか、株式会社の特徴について調査し、まとめる。 ・市場経済のしくみについて理解する。 ・価格機構のはたらきについて理解する。 ・国民所得について、教科書に掲載されている図版を適切に使用し、理解する。 ・景気変動について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・ノート提出 ・定期考査
	11		<p>⑤政府の経済的役割と租税の意義 ⑥金融機関のはたらき ⑦戦後の日本経済の動き ⑧産業構造の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・財政政策の意義、日本の財政の課題を理解し、財政のしくみ、租税の意義と課題について、具体的に事例をあげて考察し、主體的に考える。 ・資金の流れ、金融機関の役割、日本銀行の役割について理解する。 ・日本の高度経済成長やバブル経済の要因について、理解する。 ・日本経済の課題について多角的に考察する。 	
	12		<p>⑨雇用と労働問題 ⑩公害の防止と環境保全 ⑪消費者保護と契約 ⑫社会保障と国民福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・労働者が憲法や法律で守られている理由を考え、雇用事情の変化と労働条件や労働環境を理解する。 ・雇用事情の変化とさまざまな労働問題について、具体的事例をあげて多角的に考察する。 ・日本の公害問題について理解し、公害問題と公害に対する国や企業の対応、公害を防止し環境を保全するための方策について考える。 ・消費者問題について、自分自身の問題として具体的事例をあげて考察する。 ・消費者主権とは何かについて考え、企業が消費者に負っている責任、消費者を保護するために国はどのような対策をとっているのかを理解する。 ・社会保障の意義を理解し、現代の社会保障の課題について考察する。 	

1				・消費者問題，日本の社会保障について，さまざまな情報手段を活用して情報を収集し，適切に表現する。	
		第6章 国際経済の動向と日本の役割		<ul style="list-style-type: none"> ・貿易の意義，円高・円安の生じる理由，経済のグローバル化について考える。 ・地域的経済統合をはかる動きが見られることを理解しそれによって何がもたらせるかを理解する。 ・日本の貿易やアメリカ，アジアなどの貿易について理解し，貿易の拡大とそれにともなう貿易摩擦について，具体的事例をあげて考察する。 ・南北問題の発生した原因について考え，発展途上国のかかえている問題について理解する。 ・発展途上国の人口問題や食料問題について，情報を収集し，調査した内容をまとめて発表したり，レポートを作成したりするなど，適切に表現する。 ・国際協力のあり方，国際経済の中での日本の役割について自分自身の問題として考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・ノート提出 ・定期考査
学期	月	単元名	学習事項	学習内容や活用	評価の材料等
後期	2		第7章 現代に生きる倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・哲学や宗教の役割を理解するとともに，人生を豊かに生きるとはということなのかを多角的に考察する。 ・日本の伝統意識を理解し，生活の中での仏教や儒教，西洋思想の影響について，具体的事例をあげて考察する。 ・人間の尊厳や科学的なものの考え方，民主的社會を樹立するために必要な考え方の理解を深めるため，図版や原典資料を適切に使用する。 ・平等な社會の実現には，偏見を取りのぞき，主体的に努力することが求められていることを理解する。 ・差別を生み出す偏見について考え，それを克服して，ともに生きるために私たちは何をすべきか，自分自身の問題として考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・ノート提出 ・定期考査
	3	第3編 ともに生きる社会をめざして	ケーススタディ① 税と社会 ケーススタディ② 東日本大震災後のエネルギー問題をめぐって ケーススタディ③ 人口問題と私たちの未来	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に掲載されている図版や写真・資料などを適切に使用し，1枚の給与明細から税について考察したり，原子力発電所の再稼働をめぐる問題を通してエネルギー問題について考察したり，人口問題を通して私たちの未来を考察したりする。 ・調べた内容をまとめて発表したり，レポートを作成したりするなど，適切に表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・小テスト ・グループ学習 ・ノート提出 ・定期考査

3. 評価の観点

関心・意欲・態度	現代社會の基本的問題と人間にかかわる事柄に対する関心を高め，意欲的に課題を追究し，社會的事象を総合的に考え民主的・平和的なよりよい社會の実現に向けて参加，協力する態度を身に付ける。
思考・判断・表現	社會的事象の本質や人間としての在り方について広い視野に立って考察するとともに，社會の変化や様々な立場，考え方を踏まえ公正に判断し，その過程や結果を適切に表現する。
資料活用の技能	現代社會の基本的問題と人間にかかわる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し，有用な情報を主体的に選択し活用して学び方を身に付ける。
知識・理解	現代社會の基本的問題と人間としての在り方生き方にかかわる基本的な事柄や，学び方を理解し，その知識を身に付けている。

4. 評価法

日々の授業態度や授業に対する発問評価で関心・意欲・態度を評価を行う。提出課題やノート提出で思考・判断・表現の評価を行う。グループ学習で資料活用の技能を評価する。小テストや定期考査で知識・理解を評価する。

5. 担当者からのメッセージ

インターネットや新聞・ニュースなどのマス・メディアなどを活用して，わかりやすい事例を提示できるように心がけたい。